

第1回 宇宙開発利用専門調査会・測位分野検討会での論点と対応(案)

平成15年11月6日
総合科学技術会議事務局

第1回宇宙開発利用専門調査会・測位分野検討会における主な論点とその対応(案)を表1にまとめる。

表1 主な論点と対応等

No	論点	対応等
1	測位技術の変遷と位置情報のニーズの変遷の対比が必要	事務局にて検討中
2	測位機能(補完及び補強の様々なアプリケーション)と精度に関して ・絶対的な NEEDS(安全保障) ・(一般的な)NEEDS ・WANTS のどの位置づけとなるかの整理が必要(コストの観点も含めて)	第2回検討会における「アプリケーションの整理」及び「公共性」のテーマで議論
3	測位サービスに関して、どれだけの国民が利益を享受できるのかといった観点から、受益者負担も視野に入れて国の負担を再検討すべき	第2回検討会における「公共性」のテーマで議論
4	測位補完機能のみの衛星コストに関して、GPSの公開データ等を参考に再検討が必要	準天頂衛星システム開発・利用推進協議会での検討結果を検討会にて審議
5	安全保障の議論では、測位あるいは準天頂衛星システムのみを対象にするのではなく、より大きな枠組みでの議論が必要	全体の課題として、専門調査会(「安全の確保」のテーマ)で議論。
6	日米 GPS 共同声明等から、GPS から完全に独立することは不可能	コメントとして、今後の取りまとめに反映

No	論点	対応等
7	「自立性を持った相互補完関係」としてGPSシステムの使用不可(故障、攻撃等により)あるいは課金開始時の代替手段の確保を考慮すべき	コメントとして、今後の取りまとめに反映
8	我が国の産業全体の生産性を高めていくために、“移動中でも生産活動を可能とする”という観点からの準天頂衛星システムの活用方策を考えて欲しい	コメントとして、今後の取りまとめに反映